

◆ メーカー・エンジニア編 各訓練校の取組紹介 ～入社前 研修編～ ◆

全国でメーカー・エンジニア系の教育を主に行う訓練校では、様々なモノづくりの現場に配属される前に、安全とその現場で必要とされる企業特有の専門用語や製品・部品・工具などの基礎知識や実技を研修しています。配属される社員が、初めての環境に早く安心して適応できるよう、また企業様にも即戦力として信頼していただくよう取り組んでいます。今回は各訓練校の特徴ある入社前研修事例をご紹介します！

(全国訓練校数 41拠点 過去5年で3,500人の方に受講いただいております!!)



東北エリア 《 岩手県 北上校 》

- ・半導体関連企業が集まった地域
- ・ウェハ製造工程、設備保全、テスト 等基礎知識、実技の研修実施

⇒ **半導体研修コース導入の「魁」**

東北エリア 《 宮城県 仙台校 》

- ・A社（プリンタ、サポライ品）より研修受託
- ・材料、工具、テキストを借用し実技研修（止め輪、グリタ、貼物、コネクタ差し、スタイル取り他）

・**即戦力育成、導入**に繋がる

フラットケーブルコネクタ差し

東北エリア 《 福島県 郡山校 》

- ・E製作所（リチウムイオン電池）の職務に合わせたオーダーメイド研修
- ・保全応用コースに**独自の実技**研修を加える（ヘリサート、タップ、絶縁抵抗等）

ヘリサート加工

甲信越エリア 《 新潟県 柏崎校 》

- ・F社での**業務移動時**（組立→施設）実施
- ・施設管理の専門用語・設備基礎知識（受電・照明・空調・電動力・熱利用・給排水等）

・保守点検の基礎（配管、継手、化学物質等）

保守点検

甲信越エリア 《 長野県 上田校 》

- ・G社（半導体モールド装置）の図面使用
- ・製品の組立図、空圧回路図、配線図による実技研修

・**実践型研修**に重点を置く

装置内部

甲信越エリア 《 山梨県 甲府校 》

- ・H社（半導体製造装置）のインストラクター認定
- ・**WST研修受講合格が必須**
- ・専用工具、部材、測定機器使用

・ネジ締め、ネジ式端子台、継手加工の実技

ネジ式端子台

中部エリア 《 愛知県 愛知校 》

- ・I社/J社/K社の**TPS研修が必須**
- ・かんばん実践基礎コース内容

①TPSとは ②生産管理の仕組み
③かんばんの使い方 ④かんばん/台車実技 他

中国エリア 《 岡山県 瀬戸内校 》

- ・OM製作所（電子部品）のCU社員へのフォローアップ
- ・**取引先教育基準に合せて知識、技能評価**
- ・本人に対し企業/AGK両者により実施

・不足分を訓練校にてフォローアップ教育

ラックへのマスク挿入法

◆ 推奨資格合格者情報 ◆

▼4月報告の推奨資格の合格者数をお知らせします！

職種	推奨資格名	合格者数
保全	2級 機械保全技能士（機械）	11名
	3級 機械保全技能士（機械）	21名
	3級 機械保全技能士（電気）	22名
技術	第二級陸上特殊無線技士	1名
技能	第三種冷凍機械責任者	1名
コンサルティング	キャリアコンサルタント 上級	1名
IT	ITパスポート試験	5名
	.comMasterBASIC	8名

他、合計 **116名** の合格者のみなさん、合格おめでとうございます！
資格を活かして頑張ってください！



◆ 耳目之欲コーナー(知って得!) ◆

▼ “eスポーツについて”

社員研修と言ってもいろんな研修があります。その中で**eスポーツを活用した研修**についてご紹介します。

“eスポーツ”（（Electronic Sports（エレクトロニック・スポーツ））とは？モバイル、ビデオゲームをつかった対戦をスポーツとして競技性のニュアンスを加えたもの。知略、戦略、プレイヤースキルなど競技性を含むため、“スポーツ”として捉えられます。

ではなぜ、社員研修にeスポーツを取り入れるのでしょうか？一見関係なさそうに思いますが、eスポーツでの「**ルールと操作方法を学ぶこと**」は、実はビジネスシーンにおける「**市場とビジネススキルを学ぶこと**」と共通点があります。①**戦略性** ②**チームワーク** ③**コミュニケーション** ④**実行、修正、振り返り、フレームワークに則った思考力、行動力**を身につけられます。また、学校教育にも取り入れられているeスポーツは、学生同士のコミュニケーション活用にも一翼を担っており注目されています。

2024年2月1日にエイジェックがNTTe-sportsと「eスポーツを使ったチームビルディング」研修の業務連携を結びました。

今後もますますeスポーツを通じた研修が増え、DX推進が進むことでしょう。

